

令和6年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 高校生を対象に現場見学会を開催

- ・ 童里トンネル工事現場見学
- ・ 天下防災ステーション見学
- ・ 西階公園野球場整備事業見学



地域の守り手である建設産業の担い手確保のため、建設業の魅力発信の取り組みを拡大する。

土木・建築の魅力情報を発信する土木部オリジナルキャラクター「かごしま未来応援隊」



建設工事やインフラ施設をテーマにしたフォトコンテスト、パネル展等の開催

「かごしまの土木デザイン」
フォトコンテスト
(鹿児島県建設技術センター主催、
鹿児島県共催)



第12回最優秀賞

「土木フェスタ」

(建設業協会・建設業青年部会主催)



模型実験を取り入れた“ふれあい型”のイベントの開催



(レンガアーチ製作体験)



ものづくりの楽しみ、建設業の魅力を発信する若手育成プロジェクト



(コンクリート打設体験)





女性技術者交流会 In 県立浦添工業高等学校

日 時 : 令和6年12月4日(水)13:35~15:30
 場 所 : 沖縄県立 浦添工業高等学校
 参 加 者 : 高校生(23人)
 民間(teamけんせつ美ら小町、(一社)沖縄県建築士事務所協会)・県の女性技術者(13名)
 内 容 : 将来を担う女性技術者の確保に向け、土木・建築を専攻する女子高校生と民間・県等の建設業に従事する女性技術者が集まり、建設業の現状や魅力に関する意見交換会を開催



パネル展示ブース



カニクレーンの操作体験



物品展示



建設技術系県職員等による小中学校出前講座

内容： 将来の担い手確保のため、特に離島の小学校高学年から中学生向けに、建設業への興味や理解を深めるための出前講座を開催。

座間味小中学校

講義の様子



クイズ出題



石垣市立野底小学校

道路パトロールカー乗車体験



県内の建設現場を見学し、
土木・建築の技術や工法などの説明を聞きながら、
沖縄の建設業について親子で学びます。



対象：小学生（4年生以上）～中学生とその保護者
 実施日時：令和7年2月11日（火）10:00～16:00
 実施場所：南風原バイパス（南風原町宮平）、幸地インター線（西原町幸地）
 募集人数：10組（20名）程度
 集合場所：沖縄しまたて協会（浦添市勢理客4-18-1 トヨタビル）
 参加費：無料（昼食・飲み物付き）
 参加申込方法：Googleフォームにて受付（QRコードまたはURLから）
 <URL : <https://forms.gle/Yf3akYJurGYBfiAA>>
 参加申込締切：令和7年1月31日（金）※定員に達し次第締め切り

【主催】沖縄県 土木建築部 技術・建設業課
 【参加申込・お問合せ先】一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所
 TEL: (098) 879-2091 FAX: (098) 874-5301 メール: vision2024@shimatate.or.jp
 ※電話対応：10:00～18:00（12時～13時を除く）

「北九州ゆめみらいワーク」に建設業PRブースを出展

- 目的：中学生や高校生等を対象に、市内建設業の仕事内容等について直接聞き、体験することで建設業と地元企業の魅力を伝え、若者の職業観を醸成し、将来の地元建設業への就職につなげるもの
- 日時：令和6年12月11日(水)・12日(木) 9:30~16:00
- 会場：西日本総合展示場
※来場者数：10,173人(建設業PRブース来場者数:約2,000人)

建設業PRブース「明日の北九州市を支える建設業」

◆協力団体：北九州GIS測量協会、北九州市建設コンサルタント協会、北九州市建設業協会、北九州港湾建設協会

■ 測量ブース

- ・測量用ドローンシミュレーター
- ・測量機器操作
- ・立体3D地図体験 など

■ 設計ブース

- ・下水道管渠探査ロボット操作
- ・3D道路ドライブシミュレーター
- ・ドローン関連技術紹介 など

■ 工事ブース

- ・シヨベルカーシミュレーター
- ・消波ブロック効果見学
- ・釘打ち体験 など



立体3D地図体験



測量機器操作



シヨベルカーシミュレーター



釘打ち体験

ウェブサイト「ケンセツ男子・ケンセツ女子」でPR

建設業の仕事で活躍するカッコイイ若者
「ケンセツ男子・ケンセツ女子」を紹介！



『ケンセツ男子・ケンセツ女子』とは？

世界遺産に登録された官営八幡製鐵所の創業以来、「ものづくりの街」として、日本産業の近代化と高度経済成長の礎を築いてきた北九州市。本市には、ものづくりの歴史の中で、脈々と受け継がれた技術や職人を有する建設業者が数多く存在します。こうした建設業の現場でイキイキと働く若者・女性たちの姿を専用サイトで紹介しています。

※ 現在66名のケンセツ男子・ケンセツ女子を掲載中!!

『ケンセツ男子・ケンセツ女子』サイトはこちら

URL : <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kensetsu-danshi-iyoshi/>

「ケンセツ男子」「ケンセツ女子」いずれかで検索



■ 問合せ先/北九州市 技術監理局 技術企画課 093-582-2043

学・官・産 合同で現場研修会を開催

- 対象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(1年生)
- 日時：令和6年9月25日(水) 12:35~14:30
- 会場：八幡工業高等学校 会議室、工事現場(市発注工事)
- 主催：北九州港湾建設協会
(後援:北九州市/協力:福岡県立 八幡工業高等学校)

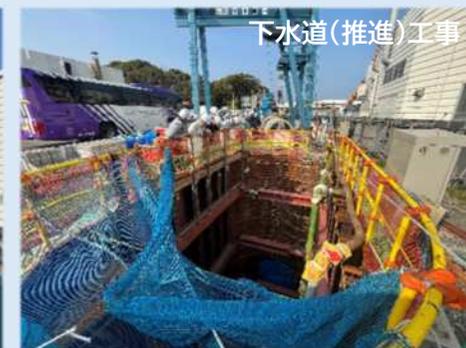
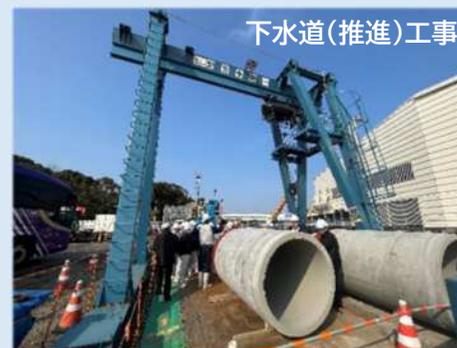
■ 学生リポーターによる現場リモートパトロール

- ・ 工事現場の状況や現場で働く技術者を生徒が直接取材し、リモートによる学校との生中継によって、学校にいる生徒もリアルタイムで現場を体験。



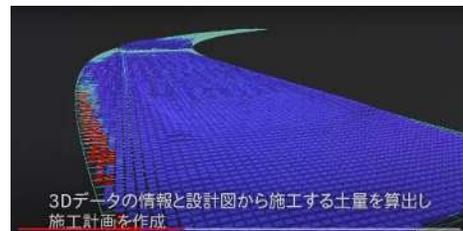
公共工事の現場見学バスツアーを開催

- 対象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(2年生)
- 日時：令和7年1月22日(水) 13:00~16:30
- 見学先：市発注工事現場 (工種:下水道/河川/橋梁/道路/区画整理)



i-Construction のPR（動画・マンガを市ホームページ等で公開）

■ 動画



【動画QR】



【URL】 <https://youtu.be/3OeWjPxVMzY>

■ マンガ



【マンガQR】



【URL】 <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/gi-kan/02300161.html>

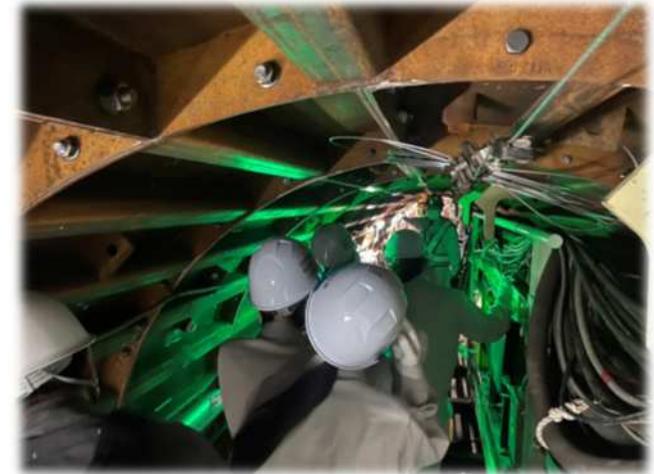
アートを活用したイベントの実施

- 土木について学習した後に、小学生に土木をテーマにしたアートを描いてもらい巨大壁画アートとして掲示



現場見学会の実施

- 県内の高校等の学校と連携し、工事現場の見学会を実施



ポスター型カレンダーの配布



SNSの活用

- Instagram、Facebookを活用した情報発信



建設業の魅力発信の取組状況

【熊本市】



現場見学ツアー



出前講座



- ・出前講座の実施
- ・現場見学ツアーの実施
- ・SNSの活用

日時：令和6年8月2日(金)13:00～17:00

場所：沖縄総合事務局(DXルーム)・南風原バイパス(現場体験)

参加中学生：19名

【概要】

- 開発建設部の女性職員と県内の女性技術者で作る「teamけんせつ美ら小町」と共同で、女子中学生を対象に現場体験会を開催しました。
- 建設業について、将来の職業選択肢に挙げて貰えるよう首里城VR体験や、工事現場でICT建機の見学、ドローンでの写真撮影などを行いました。



DXルームにおける首里城VR体験



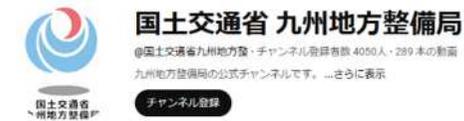
工事現場でICT建機の見学



ドローンで写真撮影している様子

■ SNSを活用した魅力発信の取組

＜本局や各事務所において「X」「Facebook」「Instagram」「Youtube」を用い様々な情報を発信＞



SNS総フォロワー数 約 **71,700**人

- ・ X : 約 58,700人
- ・ Facebook : 約 6,000人
- ・ Instagram : 約 2,900人
- ・ Youtube : 約 4,100人

■ 小学生を対象に重機乗車体験やドローン操作体験等を実施

＜鹿児島県国道事務所が「モノづくりの仕事に興味を持ってもらいたい」という思いで現場体験学習会を実施＞



■ 道路パトロール車の乗車体験やTEC服を着用した写真撮影等を実施

＜佐伯河川国道事務所が土木フェスタ&さいきキラキラマルシェで未来を担う子どもたち向けに出展＞



■ 災害対応協力業者の取組状況をHPで発信

＜災害発生時の応急対応、復旧作業を実施した災害対応協力業者の取り組み状況を発信＞



災害対応協力業者の取組状況(一例)

大雨による冠水応急対策 (株)久保組 (福岡国道事務所) 国土交通省九州地方整備局

○令和6年7月10日の10時～13時までの3時間で110mmもの豪雨に見舞われ、国道210号の福岡県うきは市三幸(福岡大分境)で山水の流入による路面冠水が発生し、通行に影響をきたした。
○応急対策として水の流入を遮断するため大型土嚢を設置し、交通利用者の安全確保に努めた。

○被害状況: 令和6年6月8日10時25分頃、大隅半島東方を震源とする地震が発生した。最大震度は宮崎県日南市で震度4弱を記録したほか、九州地方で震度4～1を記録。
○対応状況: 地震翌日の4月9日に現地に入り、目黒市・高岡市における国道220号の道路損壊(橋梁44箇所・トンネル4箇所)の緊急応急処置を実施した。

○大隅による山水からの流入が懸念されたため、従来の排水設備等の確認を行い、緊急対応に備えて大規模な土嚢による対策を実施しました。
○大隅による山水の流入を遮断し、通行の安全確保に努めた。また、大隅からの流入を遮断し、通行の安全確保に努めた。

○大隅による山水からの流入が懸念されたため、従来の排水設備等の確認を行い、緊急対応に備えて大規模な土嚢による対策を実施しました。
○大隅による山水の流入を遮断し、通行の安全確保に努めた。また、大隅からの流入を遮断し、通行の安全確保に努めた。

▲施工業者

▲設計・調査業者